

# TRIM ION US-100L 工事説明書



お客様に満足してご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みのうえ正しい取り付けをお願い致します。

配管工事はすべて建築基準法、水道法、各市町村の条例規定に準じておこなってください。

※本製品の取り付けには、部品をキッチンに取り付ける作業と配管工事（建設業：管工事業種）が必要です。又電気工事が必要な場合があります。（シンク下にアース端子付きコンセントがない場合）

※配管工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者へこの工事説明書を確実にお渡しいただき配管工事を依頼してください。

株式会社日本トリム

## 警告

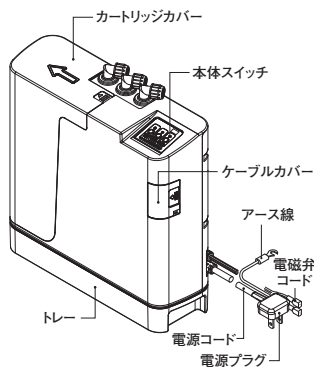
⊘	飲用不適な水は使わないでください。体調を損なう原因となります。地下水などを使用する場合は飲用適であることをご確認ください。
	湿気の多いところに取り付けしないでください。また、水をかけたり、水中で洗ったりしないでください。感電・火災の原因となります。
	アース端子付きコンセントで、アース線を必ず接続してください。アース端子が無い場合は、アース（接地）工事を必ず行ってください。接続しない場合は、感電や落雷による故障の原因となることがあります。

## 注意

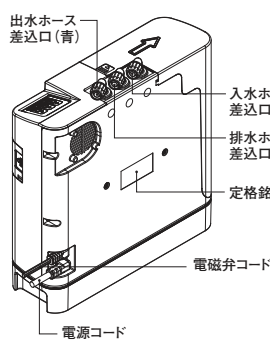
⊘	本体は水平な位置になるように設置してください。台の上や傾いたところ等、不安定な場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたり、故障やけがの原因となることがあります。
	直射日光が当たる場所やコンロ、湯沸し器等、発熱する物の近くには設置しないでください。ケースの変形や故障の原因となることがあります。
	本体の上に物を置かないでください。故障又は事故の原因となることがあります。
	ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。水漏れの原因となることがあります。
	表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧では使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
	電源コードをステーブル等で固定することはおやめください。電源コードが破損し、感電・火災の原因となることがあります。
	電源コードを傷つけたり、束ねたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが損傷し、感電・火災の原因となることがあります。
	タコ足配線はおやめください。発熱し、感電・火災の原因となることがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

## 各部の名称

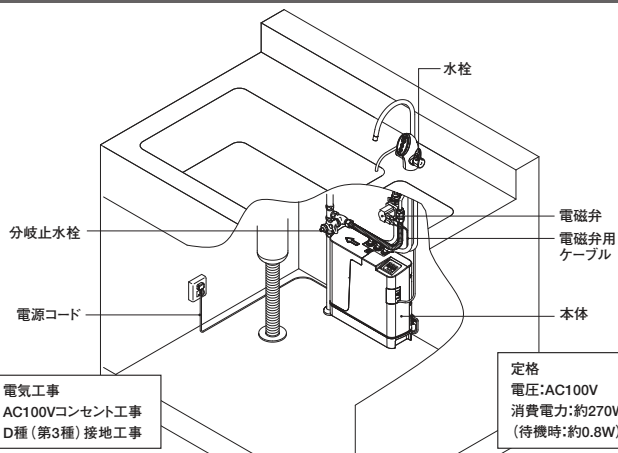
### 【本体正面】



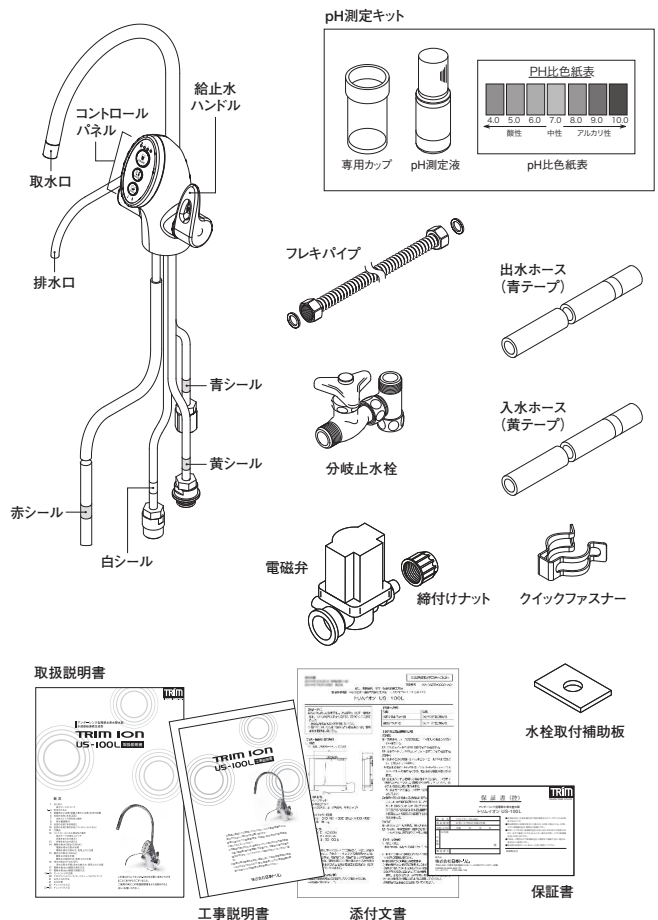
### 【本体背面】



## 施工図



## 付属品



## 取付手順

### 1 専用止水栓取付け穴の加工

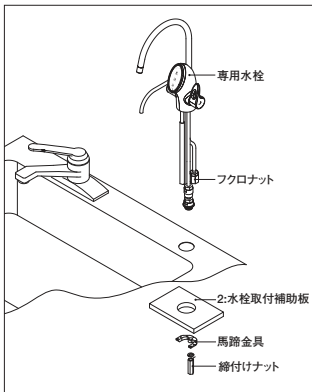
シンクの天板にφ36～φ38の穴をあけてください。

#### 注意

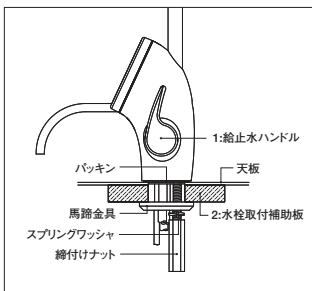
水栓本体を固定する前に取付け穴周囲の汚れを取り除いてください。

### 2 専用止水栓の取付け

取付け前に専用止水栓から締付けナット・スプリングワッシャー・馬蹄金具を取り外します。さらに背地に「↑」マーキングの色別シールが貼られた水栓パイプのフロノットを取り外してください。



専用止水栓をパイプに注意して穴に差し込みます。馬蹄金具・スプリングワッシャー・締付けナットの順に組み付けて仮固定してください。水栓の位置を確認して締付けナットを締付けてください。締付けにはソケットレンチ(13mm)をご使用ください。

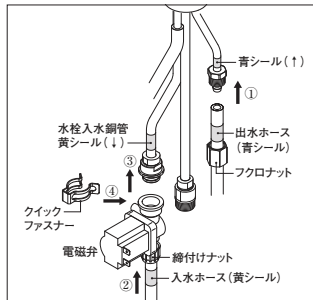


#### 注意

1. 水栓レバーは[閉]の位置(レバー:縦)にしてください。
2. シンクの天板が薄い(裏板が無い)場合は、水栓が斜めに傾いてしまう事があります。この場合、付属の水栓取付補助板を天板の下に入れ馬蹄金具で固定してください。(水栓取付補助板のサイズ:寸法60×150mm・穴径φ37) 流し台によっては加工が必要な場合があります。ご注意ください。
3. 天板の厚さの対応範囲は45mmまでです。※水栓取付補助板は、シンクの天板が薄い場合にご使用ください。締付けナットが取付けられないことがあります。

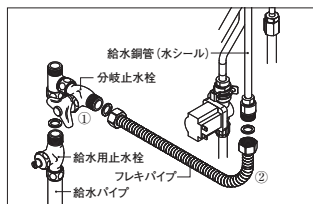
### 3 接続ホースと電磁弁の取付け

- ① 水栓パイプ(青シール)のフロノットを取外し出水ホースに取付けパイプに差し込んでナットを締め込んでください。必ずシールの色を合わせてください。
- ② 電磁弁から締付けナットを外し、入水ホースに差し込みます。電磁弁に入水ホース(黄テープ)を差し込み、締付けナットを締め込んでください。
- ③ 水栓の入水銅管に電磁弁を取付けてください。
- ④ クイックファスナーを合わせ部に差し込んでください。この時、ホースを引っ張り外れない事を確認してください。



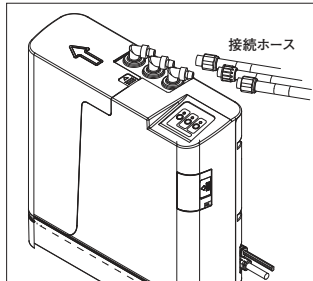
### 4 分岐止水栓とフレキパイプの取付け

- ① 給水用止水栓と給水パイプの接続を取外し、間に分岐止水栓を取付けてください。
  - ② 分岐止水栓と給水銅管(水シール)をフレキパイプで接続してください。この時、フレキパイプに無理な力がかからないような形状に曲げてください。
- 確認事項:水圧は0.05～0.7MPa以内である事を確認してください。もし、0.7MPa以上の場合は、減圧弁を取付け対応してください。



### 5 本体とホースの接続

水栓に取付けられた3本のホースを本体の差込口に接続します。接続は、差込口から継手ナットを外し、外した継手ナットをホースに差し込みます。本体背面の色別シールの色(青・赤・黄)とホースに巻かれたテープ色(青・赤・黄)を合わせて、各ホースを差込口に奥まで差し込みます。継手ナットをしっかりと締付けてください。

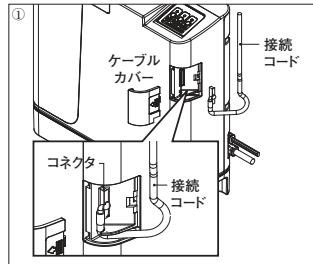


#### 注意

ホースを引っ張って外れないことを確認します。水漏れの原因になる恐れがあります。

### 6 接続コードの結線

- ① 水栓の下から出ている接続コードのコネクタを本体に接続します。本体右側のケーブルカバーを外し接続コードのコネクタを接続します。ケーブルカバーで蓋をします。

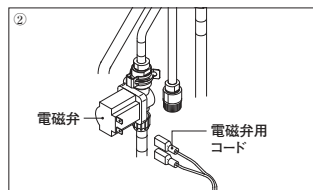


#### 注意

コネクタピンに曲がりがないか確認し、確実に差し込んでください。水が出なくなったり、動作不良の原因となります。

- ② 本体背面から出ている電磁弁コードを電磁弁に接続します。

極性	電磁弁端子	コードの色
プラス	白マーク	白
マイナス	-	黒

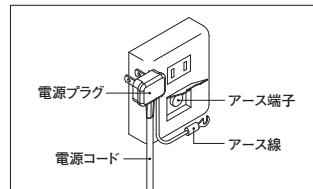


#### 注意

コードの接続は確実に行ってください。電磁弁の接続(プラス/マイナス)を間違えた場合は、水が出ません。

### 7 アース線・電源コードの接続

電源プラグに付いているアース線をコンセントのアース端子に必ず接続してください。



電源プラグをコンセントに接続します。

#### 注意

アース端子付きコンセントで、アース線を必ず接続してください。アース端子が無い場合は、アース(接地)工事を必ず行ってください。接続しない場合は、感電や落雷による故障の原因となることがあります。

## 取付後の確認

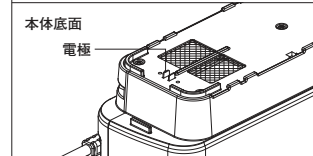
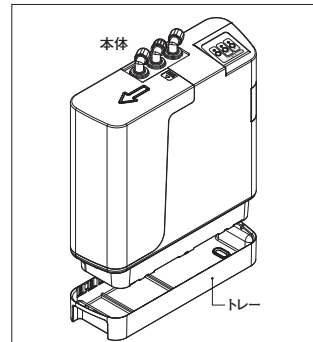
- ① 電源の確認  
専用止水栓のDRINK・P-WATER・WASHを順に押しランプの点灯を確認してください。
- ② 水漏れの有無の確認  
分岐止水栓の止水栓、専用止水栓の給止水ハンドルを回して通水(5分以上)し、各部の水漏れが無いか確認してください。

#### 注意

トレーは必ず本体にセットしてください。カートリッジ交換時に出た水を受けるものです。また、水漏れが発生した場合に水を受け水漏れを感知します。

## 電磁弁の動作確認

- 本体からトレーを外し底面にある電極の相互間をショート(5秒以上)します。(マイナスイオン等で)表示ランプが全点滅するとプザーが鳴り電磁弁が閉じます。給止水ハンドルを開き水の出ないことを確認します。(確認後、必ず給止水ハンドルを開いてください。)
- リセットするには、電源プラグをコンセントから外して約1分待って再度コンセントに電源プラグを差し込んでください。プザーが止まり、表示ランプが消灯したことを確認します。



- 再度ハンドルを開き水の出ることを確認します。

## 電解水素水pH濃度の設定

- ① 専用止水栓のDRINKを押し、レベル1が点灯していることを確認の後、専用止水栓の給止水ハンドルを回し本体に給水してください。レベル1が点灯していないときは、レベル1が点灯するまでDRINKを押し続けてください。押し度に1→2→3→4→1…と変わります。
- ② 付属の専用カップに電解水素水を8分目まで入れてください。そこへpH測定液を1滴落してください。
- ③ pH測定液により変色した電解水素水pH濃度の確認は付属のpH比色紙と比べてください。pH9.0～10.0未満が飲用に適しています。pHの調整はDRINKを押し、レベル1～レベル4で調整をしてください。
- ④ 以上の確認が済みましたら、専用止水栓の給止水ハンドルを回して給水を止めてください。止水後、何もしないで5秒間経過すると表示ランプが消灯します。